

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

和歌山県立医科大学保健看護学部には、大学の理念に基づき、次のような教育目標と入学者受入方針（アドミッションポリシー）があります。

■ 保健看護学部の教育目標

1. 生命の尊厳と幅広い教養を基盤にした豊かな人間性と高邁な倫理観の涵養
2. 個人を尊重し、全人的理解と信頼関係を築く優れたコミュニケーション能力の育成
3. 科学的思考力、高度な専門的知識と技術に基づいた実践力と創造力の育成
4. 種々の関連職種とチームワークができる協調性に富む人材の育成
5. 生涯にわたり自己啓発し、社会の多様なニーズに対応できる人材の育成

■ 保健看護学部は次のような学生を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人

保健看護学を志す人には旺盛な科学的探究心とともに、深い人間性と高い倫理観が必要です。豊かな感性と高邁な人間性をつねに求め、利他の精神を忘れることなく社会と深く関わり、高い倫理観を磨こうと努める人を求めます。

2. 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人

保健看護学の修得には自然科学のみならず、人文科学と社会科学の修得も必要です。そのためには、高等学校で学習する全科目にわたって基礎的な学力を身につけていなければなりません。それに立脚し、自然・人間・社会に関する幅広い理解と知識を獲得しようとする向学心と問題解決能力を持つ人を求めます。

3. コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人

卒業後は医療チームの一員として、患者やご家族と良好な人間関係を築く能力が必要になります。医療人として高邁な理念を堅持するとともに、他者との協調関係を築くために、指導力を発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医療人を育成します。人間への深い関心に根ざして、地域医療への奉仕に励むとともに地球規模で医療を俯瞰し国際社会で活躍する医療人になることをめざす人を求めます。

5. 生涯にわたって自立と自律をめざす人

学修の機会を与えられたことに対して将来、社会に貢献するという働き方を志し、生涯にわたって自立・自律しながら自己研鑽を積むことをめざす人を求めます。

教育課程方針（カリキュラムポリシー）

和歌山県立医科大学保健看護学部は以下の教育を通じて社会に貢献できる医療人を育成します。

1. 社会人として必要な教養とともに、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型学習による教育
2. 保健看護に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育
3. 保健看護の基盤となる領域において、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決型能力と看護方法および研究的思考を育成できる教育
4. 保健看護の専門となる領域では、習得した看護の基礎を実際に活用・実践する技能を修得できる教育
5. 臨地実習では、全ての領域を実習するとともに学内外で実習を行い、看護実践能力を含めた保健看護の力を獲得できる教育
6. 地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる人材を育成できる教育

学位授与方針（ディプロマポリシー）

和歌山県立医科大学保健看護学部は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に学士（保健看護学）の学位を授与します。

1. 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる。
2. 看護の対象となる人々と信頼関係を築くコミュニケーションができ、援助関係を形成することができる。
3. 看護の対象となる人々を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにすることができる。
4. 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、健康課題の解決に取り組むことができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として看護職や他職種・地域住民等と協働・連携を図るために主体的に行動できる。
6. 地域的・国際的視野で社会の動向とともに変動する多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けて創意・工夫することができる。
7. 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている。